

美しい山形・最上川フォーラム

第 41 回 清流・環境対策部会及び最上川文化・地域経済活性化部会

日 時 平成 30 年 3 月 19 日 (月) 13 : 00 ~

場 所 緑町会館 4F 401 会議室

意見概要

次第 3 報告・協議

(1) 平成 29 年度部会事業実施状況報告

清流・環境対策部会

- 1 第 16 回身近な川や水辺の健康診断 了
- 2 第 15 回美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン 了
- 3 ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」 了

【補足】

・スポGOMI が「スポーティライフ大賞地域コミュニティ部門」グランプリを受賞したことに対して、柴田会長から詳細を説明願いたい。

⇒この賞は今年度初めて設けたもので、全国組織の生命保険協会が開催したもの。部門が 2 つあって、我々は地域で活動する地域コミュニティ部門でグランプリ、全国 1 位になった。両部門合わせて 221 件の応募から選ばれた。先日表彰式があり、日本生命の副社長である生命保険協会の副会長が山形まで来て下さった。山形の報道記者もいたが、スポーツ関係の全国紙の記者も来ていた。山形でも当日の何社かのテレビでのニュースや翌日の山形新聞で取り上げられていた。表彰式の後、知事と山形市長を表敬訪問した。知事からも全国 1 位を取ったことは嬉しいと喜んでいただいた。協会から副賞 (30 万円) の用途を聞かれ、我々としては、スポGOMI に参加する人たちの運動量や健康状態、時間を計測する器具の購入など、スポGOMI の事業に使いたいことを伝えた。協会の副会長との話の中で、我々の具体的な活動全般をお伝えしたところ、広がりのある活動をしている団体を選んで良かったと言っていた。受賞も嬉しいが、外の方がフォーラムの活動を高く評価してくれたことはさらに嬉しいことである。また、このスポGOMI に参加して下さった人たちも喜んでくれているのではないかとということで二重に嬉しかった。これからもスポGOMI を広げていきたい。参加してくれた子どもからお年寄りの方、開催に協力して下さった方々と共に喜びたい。

⇒この事業に参加して下さった方々、開催にご協力いただいた方々に深く感謝申し上げたい。

- 4 報告書「笑顔を写す山形の川」 了
- 5 広報啓発 了

最上川文化・地域経済活性化部会

- 1 最上川夢の桜街道づくり 了
- 2 東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」了
- 3 「夢の桜街道～さくら物語～」の発行 了
- 4 夢の桜街道キャンペーン 了
- 5 写真コンテスト受賞作品写真展 了
- 6 舟運文化シンポジウム 了
- 7 ホームページの更新 了
- 8 地域おこしの紙芝居作成 了

地域部会

- ◇置賜地域部会 了

- ◇村山地域部会 了
- ◇最上地域部会 了
- ◇庄内地域部会 了

総会・運営委員会・部会

- ・通常総会の開催 了
- ・運営委員会の開催 了
- ・合同部会の開催 了

その他 委託事業・助成事業・連携事業など

- 1 平成 29 年度川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務委託
- 2 スポ GOMI 大会運営業務委託
- 3 やまがた社会貢献基金（協働助成事業（テーマ希望型））テルス（株）
- 4 やまがた社会貢献基金（協働助成事業（テーマ希望型））アサヒビール（株）
- 5 水環境保全助成事業
- 6 「東北夢の桜街道」寄付金
- 7 eco 保険証券・Web 約款寄付活動寄付金
- 8 山形県海岸漂着物対策推進協議会への参加
- 9 「スポーティライフ大賞」地域コミュニティ部門グランプリ受賞
- 10 全国川ごみネットワークへの参加
- 11 「美しい多摩川フォーラム」との連携事業
- 12 各種助成事業・基金への応募や寄付などの獲得、その活用を行う。

（2）平成 30 年度事業計画案

清流・環境対策部会

- 1 身近な川や水辺の健康診断 了
- 2 美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン 了
- 3 ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」 了
- 4 報告書「笑顔を写す山形の川」 了
- 5 広報啓発 了

最上川文化・地域経済活性化部会

- 1 最上川夢の桜街道づくり 了
- 2 「夢の桜街道～さくら物語～」の発行 了
- 3 夢の桜街道キャンペーン（会員募集） 了
- 4 写真コンテスト受賞作品写真展 了
- 5 ホームページの更新 了
- 6 地域おこしの紙芝居作成 了
- 7 最上川流域活動団体、伝え残したい最上川の資産・文化のデータベース化 了
- 8 地域リーダーづくり研修会開催の検討 了

地域部会

- ◇置賜地域部会 了
- ◇村山地域部会 了
- ◇最上地域部会 了
- ◇庄内地域部会 了

総会・運営委員会・部会

- ・通常総会の開催 了

- ・運営委員会の開催 了
- ・合同部会の開催 了

その他 委託事業・助成事業・連携事業など

- 1 山形県海岸漂着物対策推進協議会への参加
- 2 東北・夢の桜街道推進協議会のメンバーとしての「東北・夢の桜街道～桜の札所八十八ヵ所巡り」の推進
- 3 全国川ごみネットワークへの参加
- 4 各種助成事業・基金への応募や寄付などの獲得、その活用を行う。

次第 4 その他

【提案】

・「日本遺産に最上川を」と思っている。最上川フォーラムの活動の様々な場面で討議をしながら、運動として県に働きかけをしていくべきではないかと思っている。7年位前、出羽三山、最上川の織り成す景観で世界遺産に名乗りをあげた。自分もプロジェクトの一人として5年程携わって、ずいぶん頑張ったが、最終的には県内市町村の世界遺産に関わる部局の代表者の意見を集約した結果、継続して頑張っていくと声を上げたのは5自治体（長井市、朝日町、大江町、村山市、戸沢村）だけだった。地域の機運がない等の消極的な意見が大勢を占め、世界遺産への登録は消滅した。当時のプロジェクトメンバーもどうしてこうなったかという総括会議もないままに解散した。当時頑張った議会や集落の方が意気消沈し、その後3、4年、運動が弱まってきてしまった経緯がある。山形県で現在日本遺産に選定をされた3つの当該地域では局部的に盛り上がってきている。でも一つ二つの特定の自治体だけでなく、歴史的に一県一河で県内の26市町村に歴史的にも貫流している最上川を山形県が県の遺産として、中央に名乗りを上げていくべきではないかと思っている。この過程で、例えば「最上川の清流宣言をする」、「最上川の日を設定する」等、フォーラムの設立前後からの懸案を日本遺産の登録申請という運動に巻き込んでいってはどうか。皆さんにこのような問題提起をさせていただきたい。

⇒山形の日本遺産で指定されているのは、記憶からすると北前船、お話しいただいた武士と絹、出羽三山かと思う。現在は全国で確か54指定されているが、日本遺産100選という形で進めていると聞いている。その他に山形100選というものがあり、最上川を中心とした文化と生活に関連をもった名所、旧跡を指定していく取り組みを県でやっていると聞いている。今お話しあったのは日本遺産に向けてであるが、一個人では申請は出来なくて、県・市町村が申請者となるかと思う。このご提案はお聞きして受け止め、今後皆さんとこの思いをどのようにして前に進めていくかということを検討してみたいと思っている。最上川は一県一河ということで貴重であるし、昔から交通の要所として舟運文化で栄えたということもあり、その歴史が沿川に残っている。そういったことを取り上げて、観光・経済発展の拠点として繋いでいくことは大変大事なことであるので、皆さんとご相談をしていきたいと部会長として考えている。

【質問】

・山形県芸術文化会議の名簿でいただいたと思うが、山形県県民文化スポーツ課から、東京オリンピックに向けた文化庁の取り組みの資料案内が届いた。担当は違うかもしれないが当課の方がご出席のようなので、ご説明いただきたい。

⇒担当係が違い、的確な説明が出来ず恐縮である。2020年東京オリンピック、パラリンピックにあわせた取り組みで、全国各地の文化の資源をまとめて、スポーツに合わせて交流拡大に貢献しようというもの。「文化情報プラットフォーム」が出来たという一つのご案内、それから「beyond2020プログラム」ということで、オリンピック以降に向けた文化・スポーツの盛り上がりにつなげていくため、プログラムを構築していただき、認証して全国に展開するという形の文化庁の取り組み

である。持ち帰って伝えて、フォーラムに資料を提供するので、HPで展開いただきたい。